

伊豆シャボテン動物公園

ニューフェイス登場♪アマゾンの小さな猿 双子の「アカテタマリン」が仲間入り

2018年11月20日
株式会社伊豆シャボテン公園



アカテタマリン

- 【英名】Red-handed tamarin
- 【学名】*Saguinus midas*
- 【分類】オマキザル科タマリン属
- 【分布】ブラジル北部、ガイアナ、スリナム、ベネズエラなどアマゾン川流域のジャングル
- 【体長】頭胴長 20～30cm、尾長 20～30cm
- 【体重】400～550g
- 【特徴】
全身黒い体毛に覆われ、手足の色だけがオレンジ色をしている。耳は大きく先が折れ曲がっている。
- 【生態】
4～15頭ほどの群れを形成して、主に樹上で生活をすする小型のサル。四肢にはカギのような鋭い爪があり、体より長い尾を使い枝から枝へ機敏に動き回る。メスが優位に立つ社会性で、子育ては群れ全体で行う。繁殖期は4～7月、妊娠期間は140～170日。通常2子を出産する。

★当園のアカテタマリン★

静岡市立日本平動物園より2頭のメス(2016年4月26日生)が仲間入り。2頭は双子で、とても仲良く暮らしています。11月12日(月)より「わくわくモンキーハウス」1階にて展示を開始しており、環境にも慣れはじめました。今後は、オスを迎えてファミリー(群れ)を形成する予定です。

伊豆シャボテン動物公園では、2018年11月12日(月)より、「わくわくモンキーハウス」1階にメスの「アカテタマリン」2頭が仲間入りし、展示を開始いたしました。2頭は双子で、初めは少々落ち着かない様子でしたが、最近では環境に慣れてきたのかよく動くようになり、寄り添って毛づくろいをするなど仲良く暮らしています。毎日15時頃の給餌の時間にはとても活発に動き回るため、アカテタマリンの特徴である俊敏さや、木に掴まるために長く伸びた鉤爪のある手を器用に使って食事をする姿を観察することができます。